

令和5年11月27日
水管理・国土保全局
河川計画課

世界各国との水防災分野における取組の連携を強化 ～こやり国土交通大臣政務官による国際会議等への参加報告（フィリピン）～

こやり国土交通大臣政務官は、令和5年11月22日から24日までフィリピンに出張し、マニラで開催された「第22回水と災害ハイレベル・パネル」(HELP22)等に出席しました。

11月22日に開催されたHELP22では、こやり国土交通大臣政務官より、第10回世界水フォーラムに貢献していくことを表明するとともに、水防災分野の国際標準の形成について議論する場を設置することを提案しました。

また、11月23日には、フィリピン政府と共に「第4回日・フィリピン防災ワークショップ」を開催し、水防災分野の二国間協力について議論を行いました。

1. 「水と災害ハイレベル・パネル」について

水関連災害に対する各国の取組を強化、世界の意識啓発や各種提言・支援をするために、平成25年6月に設置された国際パネルで、各国の閣僚級、国際機関のリーダー等により構成されている。アジア・太平洋水サミット、世界水フォーラム、国連関係の水会議等への政策的助言を継続的に展開している。

2. こやり国土交通大臣政務官の主な行程

○ADB-HELP閣僚級会合（11月22日（水））

ハン・スンスHELP議長、モデレーターのウーチョン・ウム アジア開発銀行専務理事 他アジア開発銀行（ADB）やHELPのハイレベル代表らと、第10回世界水フォーラムの機会を捉えた水分野の国際議論の活性化等について議論を行った。

○HELP22（11月22日（水））

こやり政務官より、第10回世界水フォーラムについて、日本が水防災分野の議論をリードし貢献する旨を述べるとともに、ISOと協力し、水防災分野の国際標準の形成について議論する場を設置することを提案した。

○第4回日・フィリピン防災ワークショップ（11月23日（木））

こやり政務官より、災害が多い両国の知見を交換することが、両国の防災対策につながる旨の冒頭挨拶があった後、両国専門家が意見交換を行った。

※詳細は別紙参照

【問い合わせ先】

水管理・国土保全局 河川計画課 国際室 室長 こなみ 小浪（内線35342）、課長補佐 いげはら 池原（内線35365）
TEL：03-5253-8111（代表）、03-5253-8444（夜間直通）

- こやり政務官がフィリピンで開催された「第22回水と災害ハイレベル・パネル」(HELP22)等に出席。
- HELP22では2024年5月に開催される「第10回世界水フォーラム」への貢献を表明するとともに、ISOと協力した水防災の分野の国際標準化の形成について議論する場を設置することを提案。
- その他、ADB-HELP閣僚級会合に出席したほか、フィリピン政府と第4回日比防災ワークショップを共催した。

HELP22本会合(22日)

こやり政務官より、第10回世界水フォーラムについて、日本が水防災分野の議論をリードし貢献する旨等を述べるとともに、ISOと協力し、水防災の分野の国際標準の形成について議論する場を設置することを提案した後、日本の専門家も含むHELPメンバーにより水防災分野における今後の国際社会への働きかけ等について議論が行われた。



HELP22における政務官発言

ADB-HELP 閣僚級会合(22日)

ハン・スンスHELP議長、モデレーターのウーチョン・ウム アジア開発銀行専務理事他アジア開発銀行(ADB)やHELPのハイレベル代表らと、第10回世界水フォーラムの機会を捉えた水分野の国際議論の活性化等について議論を行った。



ADB-HELP閣僚級会合における政務官発言

第4回日・フィリピン 防災ワークショップ(23日)

こやり政務官より、災害が多い両国の知見を交換することが両国の防災対策につながる旨等について冒頭挨拶があった後、両国専門家が遊水地整備・ダム再生技術・都市の水防災などについて意見交換を行った。



冒頭挨拶の様子